

# 移動等円滑化取組計画書

2019年12月20日

住 所 富山県富山市明輪町1番50号  
事業者名 あいの風とやま鉄道株式会社  
代表者名 代表取締役社長 日吉 敏幸

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

## I 現状の課題及び中期的な対応方針

### (1) 旅客施設及び車両等の整備に関する事項

当社は、平成27年3月に並行在来線を引き継いで開業してから、地元自治体などとも連携し、施設や車両等のバリアフリー化の推進に努めてきたところである。

こうした取組みにより、駅舎等の施設に関しては、乗降者数が3,000人以上/日(2018年度)の全ての駅(6駅)及び当社が設置した新駅にはエレベーター等を設置するなどにより段差解消が図られている。加えて、ホームからの転落防止対策である内方線付き点字ブロックを全駅に設置しているほか、ホーム端部柵や障がい者対応型券売機はそれぞれ1駅を除き、障がい者対応型トイレは地元自治体が駅に併設しているものも含めると12駅において設置が完了している。なお、当社所有のトイレの洋式化は完了している。

また、バリアフリー対応型車両(車いす対応トイレ設置、車いすでの車内移動対応可能等)は、現有する49両(22編成)のうち37両(18編成)に対応(75.6%)している。

今後も、障がい者等の方の移動の更なる円滑化のために、次の取組みを進めていくとともに、地元自治体等と整備の促進に向け協議を進めていく。

- 乗降者数が3,000人近くである滑川駅の段差解消のため、2021年度のエレベーター設置に向け準備を進める(2020年度に詳細設計)。また、その他の駅についても、乗降者数や乗降者の特性に加え、市町村が策定するバリアフリーの基本構想などを踏まえ、段差解消の検討を進める。
- 2021年度に富山～東富山間に整備する新駅は、基準に適合したものとする。
- 石動駅に、ホーム端部柵を2019年度中に設置する。
- 西高岡駅に、障がい者対応型券売機を2019年度中に設置する。
- 当社所有トイレの男子用小便器・洋式トイレ・洗面所が、1か所以上、手すり付きのものとなるよう2019年度中に整備を進める。
- 2022年度までに、バリアフリー対応型車両を新たに8両(4編成)導入し、老朽化した車両を順次更新することで、対応型車両の割合を90%以上とする。

## (2) 旅客支援、情報支援、教育訓練等に関する事項

### ①旅客支援

車椅子の方への介助については、乗車の2日前までに、高岡駅、富山駅または本社に連絡いただくことで、無人駅も含め、介助要員を手配のうえ対応しており、車椅子以外の方の介助については、駅員配置駅において要請の都度、対応している。また、車椅子等の方が、エレベーター未設置駅での乗降に当たっては、エレベーターのある駅までの折返し乗車（折返しに要する運賃は無料）により段差が解消されているホームで降車できる仕組みを導入している。今後もこうした取組みを継続的に実施するとともに、新たな取組みの検討を行っていく。

### ②情報支援

インターネットを活用した情報支援として、障がい者等を含む利用者がスマホ等で列車現在位置を確認できる情報サービス〈通称：あイトレ〉を提供（英語対応）するとともに、当社HPにて、全駅の設備・バリアフリー情報や車いす等旅客誘導介助の申込方法、障害者対象の割引乗車券の案内などのバリアフリー情報の提供を行っており、今後も改良を行い、利便性の向上を図っていく。

駅や車両における情報提供として、全ての駅に運行情報を提供する設備（案内モニタ）を設置するとともに、列車到着の予告や遅延、接近を音声にて案内する自動放送を実施している（いずれも英語対応）。また、新型の521系車両の34両（17編成）において、開閉する乗降扉や次駅等の情報を音声にて提供しているが、今後も旧型車両の521系車両への更新に合わせ導入を促進するなど、拡充を図っていく。

### ③教育訓練

新規採用時において介助支援方法の研修を実施するとともに、継続的に介助訓練を実施するなど、継続的に駅員が学ぶことができる機会を設けている。また、全ての駅員が介助方法を適切に行うことができるよう、統一的な取扱いを定め、周知を図っている。さらに、障がい者支援団体と合同で介助訓練を実施するとともに、意見交換も行うなど、障がい者等の鉄道利用に際しての支援の向上に取り組んでおり、今後もこうした取組みを通じ、社員のスキル向上を図っていく。

## II 移動等円滑化に関する措置

### ① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ホームからの転落防止対策	・石動駅に、ホーム端部柵を設置する。(2019年度)
障がい者対応型券売機の設置	・西高岡駅に、障がい者対応型券売機を設置する。(2019年度)

トイレ設備への手すりの設置	・当社所有トイレの男子用小便器・洋式トイレ・洗面所が、1か所以上手すり付きのものとする。(2019年度)
車両の導入	・バリアフリーに対応した新型車両を2両(1編成)導入する。(2019年度)

② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
旅客支援	・中期的な対応方針に基づき、取組みを継続的に実施する。(2019年度)

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
インターネット等による情報提供	・新たに稼働した県内バス運行情報システム「とやまロケーションシステム」との相互リンクを行う。(2019年度)
音声による情報提供	・車内での運行情報等の音声による提供できる車両を2両(1編成)導入する。(2019年度) ・障がい者団体の要望を踏まえ、富山駅のエレベーターの音声案内を各階ごとに具体的な表現に変更し、視覚に障がいのある方にも利用しやすいものとする。(2019年度)

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
教育訓練	・車椅子介助の訓練を実施する。(2019年度)

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村が策定するバリアフリー基本構想の検討・策定に参加するとともに、駅へのアクセスも含めた駅周辺のバリアフリー化の促進に向けた現地調査などに協力を行っていく。</li> <li>・他の公共交通機関(北陸新幹線、高山本線、路面電車)も接続する交通結節拠点である富山駅の駅工事の進捗に合わせ、統一した案内サイン等の設置を進める。</li> </ul>
---

#### IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設 及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由
	今年度に計画策定のため該当なし	

#### V その他計画に関連する事項

車両の更新や主な設備の対応方針については、当社の経営計画に位置付けられている。

注1 IVには、IIについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、IIの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。